

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		第1回 福津市健康づくり推進協議会
開 催 日 時		令和5年6月1日(木) 午後2時00分から 午後3時00分まで
開 催 場 所		福津市総合福祉センターふくとぴあ 1階 にこにこルーム
委 員 名		(1)出席委員 古野 貴、花田 貴史、坂口 尚登、野中 多恵子、 松尾 和枝、宗岡 浩子、松原 秀治、漆谷 慎一、 田島 勝彦 (2)欠席委員 なし
所管部課職員職氏名		健康福祉部長 堤田 達也 福祉課長 青谷 哲也 高齢者サービス課長 桑野 晃明 子育て世代包括支援課長 羽田野 美奈 いきいき健康課長 朝長 弘美 いきいき健康課健康づくり係長 石津 由起子 いきいき健康課健康づくり係 田中 優記
会	議 題 容	<ul style="list-style-type: none"> 健康ふくつ21計画目標項目一覧の中間評価結果について 令和5年度のスケジュール(案)について 健康ふくつ21計画の見直しの進め方について その他
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1人
議	資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ① 健康ふくつ21計画目標項目一覧の中間評価結果について ② 令和5年度のスケジュール(案)について ③ 健康ふくつ21計画の見直しの進め方について
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法：会長確認
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

次 第

- 1、開会のことば
- 2、市長挨拶（公務により欠席のため代読）
- 3、委嘱辞令の交付
- 4、会長・副会長の選任
- 5、会長挨拶
- 6、議事

議事 1、健康ふくつ21計画目標項目一覧の中間評価結果について
（事務局から説明）

《質疑応答》

（田島委員）

この評価表の対象年齢について、特定健診の受診率はあくまでも74歳までの結果ということで、それ以上についてはないということですか。健康ふくつ21の10ページ、後期高齢者医療（75歳以上）疾病分類別件数上位（入院）のデータは全国の数値、下の入院外は福岡県のデータだと理解していいですか。これから後期高齢者がすごく増えていくので、後期高齢者にも手を打つ必要があるのではないかと感じました。

（事務局 石津）

10ページの後期高齢者のデータは福岡県全体でのデータです。資料1の特定健診の受診率は40歳から74歳までの福津市健康保険被保険者が対象で、保険者である市が行う国民健康保険の健診です。後期高齢者については、福岡県の広域連合が75歳以上の方を対象に健診を実施しています。

（事務局 朝長）

補足します。後期高齢者のデータにつきましては、資料の「福津市国民健康保険 第2期保健事業実施計画・第3期特定健康診査等実施計画 中間評価」の中の、14ページからが後期高齢者の福津市における健康状態を分析したデータです。健康ふくつ21計画を策定した時には、後期高齢者の保健事業については福岡県の広域連合が担当しておりましたが、令和3年度からは福津市においても直接実施をしていますので、この資料で確認をお願いします。

（漆谷委員）

一般市民の対象2,000人に対して回収状況が1,000人ということで、有効統計数というものがあつたと思います。一般市民を分母として、分子が調査対象者のうちの回収数と思いますが、それが何%であればほぼ全体を調査したことと同じになりますか。それで調査していくのが一番いいのではないかと感じました。

（事務局 朝長）

調査としてはこの数でも成立するということは確認しておりますが、この先年齢区分ごと、性別ごとなど細分化し、クロス集計をかけていくということには分母が小さく、その数値は出すことはできるが注意が必要ということを説明させていただいた次第でございます。

(松尾委員)

高齢者の医療費の課題というところで、高齢者一人あたりの年間医療費が減少、つまり改善されている。中間評価ということで、どのような働きかけの結果としてこのような改善が得られたのでしょうか。その辺で今後に向けてさらに励まなければいけないところも見えてくると思います。そのあたりの手ごたえをどうとらえていらっしゃるのでしょうか。なんらかの行政の働きかけの結果でしょうか。

(事務局 朝長)

医療費は難しいもので、私たちの働きかけだけではほんの微々たる影響しかないと認識しております。松尾委員が言われたところを少しでも分析・評価できるように、準備を進めていきたいと思っています。

(古野会長)

それでは今出たご意見を反映させるものはさせてもらうということで、議事1については承認を頂いてよろしいでしょうか。(一同承認)

議事2、令和5年度のスケジュール(案)について
議事3、健康ふくつ21計画の見直しの進め方について

(古野会長)

次に議事2、3に入ります。この二つは関連しておりますので、事務局から合わせて説明をお願いします。

(事務局より令和5年度のスケジュールと計画の見直しの進め方について説明)

自殺対策計画は、健康ふくつ21計画には含まれていないものですので、福祉課の青谷課長から説明します。

(事務局 青谷)

「福津市自殺対策計画」は令和5年度、今年度が見直しの年度となっており、次回の第2回健康づくり推進協議会で、健康ふくつ21計画の(5)休養の部分でご協議頂く予定です。第2期の自殺対策計画は、次回までに素案をこちらで作成し、それをもとに皆さまにご説明をし、ご審議いただくということで考えておりますので、次回よろしくお願いいたします。

《質疑応答》

(田島委員)

資料3の現状と課題について、アンケート結果データやそれ以外の事業等で得られるデータにより現状を再把握するということですが、当然、健康ふくつ21第二次計画が策定された時から変化があったと思います。それを、昨年実施したアンケートをもとに、事務局で素案を作った、それに対して審議会で議論をするということによろしいですか。

(事務局 石津)

健康ふくつ21計画には、当初計画した時の状況と、その時の今後の取り組みということで、10年間の取り組みが書いてあります。今回アンケートを行いましたことと、中間で健診の結果等も

見えて来ましたので、その現状と課題や今後の取り組みをこちらでお示しし、加除修正が必要となれば、皆さんにご協力いただいで作成していきたいと思っております。素案はこちらで提示させていただこうと思っております。

(漆谷委員)

自殺対策計画について「だれも自殺させない」という意気込みはすごいなと思いました。この冊子の3ページの図3の自殺率の国際比較について、ノルウェーやフィンランドなど、北欧が福祉国家なので自殺率は低いのではないかというイメージがあるが、ここには入っていません。客観的に、一番自殺が少ないところと、自殺率が一番悪いところと日本を比較するのがわかりやすいのではないかと思います。

(事務局 青谷)

5年前の計画でしたので、これはその時に把握して出した資料です。自殺率の低いところも当然あると思いますし、自殺者を減らすという大きな目的もありますので、自殺率の低いところを目指すということに鑑みればそういったデータも必要かと思えます。大変貴重なご意見ありがとうございます。

(古野会長)

それでは今出たご意見を反映させるものはさせてもらうということで、議事2、3については承認を頂いてよろしいでしょうか。(一同承認)

それでは議事4、その他に入ります。事務局何かありますか。

(事務局)

特にありません。

(古野会長)

今日は大きなプラン、進め方が主な議題です。今後まだ協議会は4回予定されていますので、それぞれのテーマに沿った議論はその時にしていただければと思います。それでは、これですべての議事を終了します。